

# 議長年頭あいさつ

## 活力ある豊かなまちづくりを目指して

氷川町議会議長 永田 義昭



新年明けましておめでとうござい  
ます。皆さまには、ご家族おそろいで健  
やかに新年をお迎えのこととお喜  
び申し上げます。  
日頃より町議会に對しまして、  
ご理解とご協力を賜り厚くお礼  
申し上げます。  
さて、昨年を振り返ってみますと、  
8月25日に襲来した台風15号によ  
り氷川町でも家屋や農作物に大  
きな被害が出ました。梨生産者は、  
晩霜に続く落果被害で二重の痛  
手を受け、通常年の3割程度の収  
量しかなかったと聞いています。  
イチゴやトマト、アスパラガスなどの  
ハウスの倒壊やハウスビニールの破損  
など園芸施設の被害も多く確認  
されています。被害を受けられた  
皆さまに心からお見舞いを申し上  
げます。  
氷川町にとりまして、祝い事も  
多くありました。長い間の懸案で  
ありました八火図書館ならびに宮  
原振興局がオープンしました。  
利用しやすい図書館と支所機  
能を持った宮原振興局を併せ持っ  
た新施設は、大変便利になり、快  
適なまちづくりにつながることと思  
います。  
併せて、八火図書館の由来と  
なった電通創業者の光永星郎先  
生の功績を顕彰する八火ギヤ  
ラーが設けられました。ご家族や  
電通から寄贈された本人自筆の  
健・根・信の書額や本人が好んで

書いた「だるま図」など、電通勤務  
時代のさまざまな写真や光永先  
生の胸像、肖像画などが展示され  
ています。  
郷土が生んだ偉大な先生の出  
身地としての誇りは、これからの励  
みになると思います。  
また、町民栄誉賞第1号の秋  
山幸二さんの、プロ野球西武ライオ  
ンズの入団から福岡ダイエーホーク  
スで現役引退、その後、福岡ソフト  
バンクホークスの監督として数々の  
活躍で受賞されたゴールデングラ  
ブや記念バット、ボールなど、数々の  
貴重な展示品を氷川町に託してい  
ただき、秋山幸二ギヤラーが設  
置オープンされたことは、野球ファン  
はもとより、地元の子どもたちの  
喜びもひとしおで、大きな夢と希  
望を与え、地域のスポーツ振興につ  
ながることと思います。  
また、去る10月10日に氷川町誕  
生10周年記念式典が開催されま  
した。  
合併の利点を生かした町勢発  
展のため合併以来、町は新町建設  
計画の基本方針に添い、諸問題な  
どを解決しながら着実に町政を進  
めてきました。  
町政各般にわたる功労者とし  
て、栄えある表彰を受賞された皆  
さまや町民の皆さまと行政が一体  
となつて、多くの成果を挙げ、氷川  
町の将来に向けた基盤を築くこと  
ができた10年であったと思います。  
TPP(環太平洋パートナーシッ

プ協定)の交渉については、コメや牛  
豚肉など重要5項目を聖域とし  
た国会決議に基づき進められたは  
ずでした。  
合意後に判明したのは、農林水  
産物の8割で関税が撤廃されたり、  
大幅に税率が引き下げられた内容  
です。政府はTPPを成長戦略の  
切り札と位置付け、大綱に農林水  
産品を含めた輸出拡大や投資促  
進の施策を盛り込み、安い海外産  
品の輸入増で打撃を受ける恐れのある  
農産品は、保護策で影響を緩和  
するとしています。が、政策の効果  
は不透明です。  
農業立町である氷川町として  
は、TPPがもたらす恩恵と痛みに  
ついて、具体的な説明が欲しいとこ  
ろです。  
私たちが町議会は激動する経済  
社会情勢の中、地域社会における  
課題や変革を的確に捉え、対応実  
現に努力していくことが任務であ  
り、責務であると思います。  
今年も住民の幸せを第一義に、  
活力ある豊かなまちづくりを目指  
して、誠心誠意取り組んでまい  
たいと存じます。  
今年も氷川町のさらなる飛躍  
と発展のために、皆さまのより一層  
のご支援とご協力を賜りますよう  
お願い申し上げます。  
新しい年が町民の皆さまに取り  
まして、幸多き一年になりますよう  
ご祈念申し上げます。新年のご  
あいさついたします。

# 町長年頭あいさつ

## 持続可能なまち・氷川町を目指して

氷川町長 藤本 一臣



明けましておめでとうございま  
す。皆さまには、ご家族おそろいで希  
望に満ちた新年をお迎えのことと  
お喜び申し上げます。  
また、日頃より町政運営ならび  
に地区づくり活動に對しまして、  
温かいご理解とご協力を賜り心よ  
り厚くお礼を申し上げます。  
昨年を振り返りますと、ラグ  
ビーワールドカップでの日本チームの  
活躍、日本人研究者2名のノーベル  
物理学賞ならびに生理学・医学賞  
受賞などの輝かしい希望の持てる、  
うれしい出来事が多数ありました。  
一方、全国各地で大雨や台風な  
どの自然災害が多数発生しまし  
た。  
本町におきましては、台風15号  
により住家や農業用施設をはじめ、  
農作物など多岐にわたり甚大な  
被害が発生し、皆さま方にとりま  
しても、ご苦勞の多い年であったと  
拝察いたします。  
そのような中、立神峡が名勝地  
として国指定を受け、八火図書  
館・宮原振興局の開館、秋山幸二  
氏の県民栄誉賞受賞とギヤラー  
の開設、谷口木工所で製作した畳  
表ベンチがイタリアマミノ国際万博  
で大好評を受けたことは、氷川町  
にとりまして大変名誉なこと

あり、より良い年であったと感じて  
います。  
また、氷川町誕生10周年の節  
目を迎え、去る10月10日に記念式  
典を挙行し、10年間の歩みを振り  
返り感謝するとともに、さらなる  
町の発展に向け尽力することを、  
町民の皆さまと共にお誓いをいた  
しました。  
さて、第3次安倍改造内閣が発  
足し、TPP交渉の大筋合意をは  
じめ、まち・ひと・しごと創生法な  
どに基づく、地方創生に向けた新  
たな政策が動き出しています。  
氷川町においても「まち・ひと・し  
ごと創生推進本部」および「まち・  
ひと・しごと創生総合戦略推進会  
議」を設置し、外部有識者の提言  
を踏まえ、氷川町版人口ビジョンな  
らびに総合戦略を策定いたしまし  
た。  
人口ビジョンでは、年少人口、生  
産年齢人口、老年人口のバランスを  
保つことを目標とし、合計特殊出  
生率を2030年に1.80へ、20  
60年に2.07まで上昇させ、20  
60年の目標人口を8千人としま  
した。また、総合戦略では「二次産  
業の復活」「ベッドタウンとしての  
環境整備」「学び舎として学生が  
訪れる氷川町」の3つの重点項目  
と4つの基本目標を掲げ、持続可

能なまち・氷川町の実現を目指し  
てまいります。詳細につきましては、  
町ホームページにアップするととも  
に、来月号の広報誌でお知らせす  
る予定です。  
氷川町の新たなステージが始ま  
りますが、解決すべき課題が山積  
しておりますので、それらの課題解  
決に向けて、町民の皆さまとの融  
和と連携による協働型社会の構  
築を図り、先人から受け継いだ産  
業・伝統文化・風土を守り育むと  
ともに、時流を的確に捉え、新たな  
視点と発想による町政運営を果  
敢に展開してまいりたいと考えてお  
ります。  
私も町政運営の先導役として、  
すべての町民の皆さまが小さな合  
併を選択し、氷川町が誕生して良  
かったと思っただけで済ませよう「安  
心して暮らせ、幸せを実感できる  
氷川町」の実現に向け、全身全霊  
を傾注して、その責務を果たして  
まいります。  
これからも町議会をはじめ町民  
の皆さまのご理解とご協力をお願  
い申し上げますとともに、新しい年  
が皆さまにとりまして、氷川町に  
とりまして、さらに飛躍する最  
良の年でありますよう心からご祈  
念申し上げます。年頭のごあいさつと  
いたします。